

時 とき 所 ところ 内 内容 対 対象・定員 ¥ 料金 持 持ち物  
申 申し込み 問 問い合わせ・申込先 F ファクス E メール

### ぷらっとシアター

#### 人形劇団えりっこ『のんののんたとちびうさぎ』

時 6月1日(日)、午前11時～正午(午前10時30分開場)

所 ヒロコ(駅前町)4階市民文化交流館ホール

¥ 700円(3歳未満は無料/当日徴収)

対 130人

申 窓口または電話/5月10日(土)の

午前8時30分以降

問 市民文化交流館(ヒロコ3階、☎35-0154、午前8時30分～午後9時)



## 安全・生活環境・防災

### 空き家・空き地利活用事業費補助金を受け付け

対象物件 弘前圏域空き家・空き地バンク(以下、バンク)に登録された市内の空き地/次の①～③の条件を全て満たす空き家…①バンクに登録された市内の空き家、②築25年以上の空き家、③空き家になってから90日以上経過した空き家

補助対象者 ①空き家を購入する人/②空き地を購入する人/③空き家を賃借する移住者/④空き家を解体する人/⑤動産を廃棄する人

※移住者および子育て世帯は、築25年未満の空き家を購入する場合も補助対象となります。

補助上額 ①40万円/②20万円/③10万円/④20万円/⑤5万円

補助率 補助対象経費の2分の1

申請期間 5月7日(水)～令和8年2月20日(金)

※先着順、予算額に達した時点で終了

問 建築指導課空き家対策係(☎40-0522)

### 令和7年度弘前市空き家活用リフォーム事業費補助金を受け付け

交付条件 次の①または②に該当する場合

①10年以上地域コミュニティの維持・再生の用途で活用する場合

②移住し、10年以上居住する場合(弘前市外からの移住に限ります)

リフォーム内容 市内業者(市内に本店を有するもの)が行うリフォームで、リフォーム後の建築物が以下の①～③の2つ以上の省エネ項目を満たすこと

①開口部の断熱改修

②躯体の断熱改修

③エコ住宅設備の設置

補助金額 リフォームに要する費用2分の1(上限額100万円)

募集件数 1件程度(予算額に達した時点で終了)

対市税等の滞納がなく、次のAまたはBのいずれかに該当するもの

A 空き家の所有者(予定を含む)または相続人

B 空き家の所有者または相続人から、空き家をリフォーム後、補助対象物件を活用することの同意を得たもの

申請期間 5月7日(水)～12月26日(金)

注意事項 所有者または相続人が複数いる場合などは、権利を有する者全員から、空き家のリフォームを行うことおよびリフォーム後の空き家を10年以上活用する同意を得る必要があります。また、補助金申請前に、リフォームの契約をした者は対象外となります。



問 文化財課(☎82-1642)

## そこ、遺跡じゃないですか？

弘前市内には、459カ所の遺跡と3カ所の史跡があります。新しく家や建物を建てる際、もしくは掘削を伴う増改築の際には、建築確認申請の要否にかかわらず、遺跡・史跡に該当していないか文化財課へ確認してください。また、農地の造成、樹木の移植・改植等、掘削を伴う場合も確認をお願いします。

遺跡と史跡の位置は、文化財課で配布する遺跡地図や、県ホームページで確認することができますが、隣接地など判断が難しい場合もありますので、個人で判断せず文化財課までお問い合わせください。

土木工事等が遺跡・史跡に該当している場合は次の手続きが必要です。

### 「遺跡」に該当している場合

「土木工事等のための発掘に関する届出書」を提出してください。

※届出書の様式は市ホームページからダウンロードできます。

### 「史跡」に該当している場合

「現状変更等許可申請書」を提出してください。

※状況によっては発掘調査となり、工事開始まで時間を要するなど、計画の見直しが必要となる場合もありますので、事前にご相談ください。

他にも条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問 建築指導課空き家対策係(☎40-0522)

### 令和7年度弘前市老朽空き家等除却促進事業費補助金を受け付け

対象物件 次の(1)～(3)いずれかに該当する空き家

(1)不良住宅

(2)特定空家等(市に認定され、改善措置の命令を受けていないもの)

(3)単独活用が困難な空き家

対象者 次の①と②の要件いずれにも該当するもの  
①対象物件の所有者または相続人等  
②市税などの滞納がないもの

対象工事 市内業者(市内に本店を有するもの)が行う工事

補助金額 除却に要する費用の80%(上限額50万円)

募集戸数 10戸程度(予算額に達した時点で終了)

事前協議受け付け・補助金申請期間 5月7日(水)～12月26日(金)

申請の流れ 「事前協議」として、市職員が敷地に立ち入り、空き家の現地調査を実施します。事前協議で補助金の対象となった物件が、補助金申請の手続きをすることができます。

注意事項 所有者または相続人が複数いる場合などは、権利を有するもの全員から対象物件の除却を行う同意を得る必要があります。また、補助金申請前に、除却工事の契約をしたものは対象外となります。他にも条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問 建築指導課空き家対策係(☎40-0522)

### 生ごみ処理容器と薬剤をあっせん

家庭の生ごみを堆肥化してごみの減量を図るため、埋め込み式の生ごみ処理容器などをあっせんします。

受付期間 5月1日(木)～30日(金)の平日

内 ●生ごみ処理容器=4,600円(埋め込み式・丸形、容量190L、限定25台、定価6,600円のうち2,000円を補助)/●害虫駆除剤=690円/●発酵促進剤=1,700円

申 電話で申し込みの上、代金を配達業者に現金で支払うか、最寄りの郵便局で振り込んでください。

※振り込みの場合、振込手数料は業者が負担します。

問 弘前市町会連合会(☎35-1111、内線346)



### 全国瞬時警報システム(Jアラート)の情報伝達試験を行います

地震や武力攻撃などの発生に備え、全国で一斉試験を行います。防災行政無線から試験放送が流れます。※今年度は計4回の試験が予定されており、今回は1回目になります。

時 5月28日(水)、午前11時(気象状況等によっては中止することがあります。その場合、6月25日(水)を予備日としています。)

防災行政無線の内容を確認したい際には、テレホンサービスをご活用ください。(☎40-7110、サービス料は無料ですが通話料が発生します)また、防災行政無線アプリからは放送されません。

問 防災課(☎40-7100)

## ゼロカーボンひろさきチャレンジ!! #09



「ゼロカーボンシティひろさき」の実現に向けて、できることから一緒にチャレンジしてみましよう! 今号はゼロカーボンに関する話題をお届けします。

問 環境課ゼロカーボンシティ推進係(☎32-1969)

## 「ゼロカーボンシティひろさき」をPR ラッピングEVバスが登場

弘南バスに新たに導入されたEV(電気)バスに「ゼロカーボンシティひろさき」をPRするラッピングバスが登場しました。ごきん柄のりんごや桜をモチーフにしたデザインが施された2台のEVバスは、3月下旬から土手町循環バスとして運行されています。

